

ウイルス性肝炎対策（産業医研修事業）について（案）

H25.3.6 広島県健康福祉局薬務課

1 趣旨

産業医に対し、肝炎に関する研修を実施することにより、職域において、肝炎に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、肝炎ウイルス検査の受検促進、陽性者への保健指導・受診勧奨を強化する。

2 事業の必要性

- 職域集団の肝炎ウイルス検査受検率が一般県民より低い。
【職域：7%，一般県民：27%】
⇒ 受検機会の確保，肝炎ウイルスについての知識不足
- 職域での肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの割合が33%と低い。
⇒ 事業主が感染症の問題と距離を置く傾向
- 職域における肝炎治療が必要な従業員に対する支援が不十分
肝炎治療が必要な従業員への就業上の配慮「無」：全体の59%
肝炎治療のための休暇制度「無」：全体の87%
肝炎に関する相談窓口の設置「無」：全体の85%

産業医による職域での衛生教育の実施を通じた肝炎に関する普及啓発の必要性

3 事業の概要（案）

(1) 対象者

県内の産業医：約2,100人（1,050人／年）

(2) 実施回数

年7会場（地対協圏域毎）

(3) 研修内容

- ア ウイルス性肝炎に関する知識（最新の治療方法等）
- イ 肝炎ウイルス陽性者への保健指導・受診勧奨
- ウ 本県の肝炎対策について（肝炎ウイルス検査，治療費助成制度，肝疾患患者フォローアップシステム，患者支援手帳等）

4 事業スケジュール（案）

4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
募集 要項 作成	受講者募集	研修実施 (県内7会場)	